

# 排水溝改良工の作業手順

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事流入箇所の確認</li> <li>車輛の順番の確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> </ul>
既設側溝蓋解体	<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフで搬入した重機を卸し、重機、ブレーカー等ではつり、既設蓋を撤去します。この際鉄筋は、鉄筋カッターにて切断しコンクリートがらをダンプに積み込みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重機を卸す時は必ず誘導を行う。</li> <li>有資格者による、機械作業を行う。</li> <li>防塵マスク、保護メガネ、耳栓を使用する。</li> <li>はつり等の、一般車への飛散防止処置を行う。</li> <li>車輛の移動は必ず誘導を行う。</li> <li>重機運搬時は、必ず固定する。</li> </ul>
側溝清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓋を撤去した後、側溝内の清掃を行う。この時既設側溝の形状確認も行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃を行う際、堆積物の除去も行い、出来る限り側溝の原型に戻し、流量を確保する。</li> </ul>
蓋搬入・設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓋の仮置き場から4tユニックにて蓋を積み込み、現場内へ搬入する。</li> <li>搬入した蓋は重機によって吊り込み誘導のもと設置する。この時蓋側面の隙間はモルタルを充填し補修する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積み込み作業は、必ず2人以上で作業する。</li> <li>積み込んだ蓋は、確実に固定する。</li> <li>セメントなどの空袋は、飛散しないようにまとめて整理する。</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料などは、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>小石なども落ちていない様、確認を行う。</li> <li>規制からの流出は、誘導員の指示に従って速やかに行う。</li> </ul>

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具	
			ヘルメット	
			反射(自発光)チョッキ	
			警笛	
			保護メガネ	
			防塵マスク	
			耳栓	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.有資格者による、機械作業を行う。
- 2.トンネル内での火気使用禁止。
- 3.車輛誘導の徹底。
- 4.重機災害の注意。
- 5.積み荷の積載量オーバーの禁止。
- 6.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 7.一人作業の禁止